

解剖実習に献体 99人の冥福祈る

岡山大で慰霊祭

昨年10月から1年間に亡くなり、岡山大医学部、歯学部の解剖実習などに献体した99人の冥福を祈る慰霊祭が29日、岡山市北区鹿田町の岡山大Jホールで営まれた。写真。

人体の構造を学ぶ実習と特定の病因を究明するための病理解剖への協力者を供養。ホールには祭壇が設けられ、遺族や学生、教職員ら約400人が花を手向け、静かに手を合わせた。



吉野正医学部長と窪木拓男歯学部長が「献体から得られる貴重な情報を有益な医療人の育成に役立てたい」、医学部医学科3年久保田菜月さん(21)が「献体者の尊い遺志を受け継ぎ、多くの患者の役に立ちたい」と謝辞。遺族代表が「故人の思いを忘れず、患者の痛みと苦しみが理解できる医療人になってほしい」と述べた。(吉尾夏紀)